

琉球大学では、皆さんの専門的な学びに活かすことを目的に、データを分析し、データに内在する情報や知識を読み取り、論理的思考を通じて解釈・議論するのに必要な数理的思考力とデータ分析・活用能力の向上に令和2年度より取り組んでいます。同年度にスタートした「国際地域創造学部データサイエンティスト養成履修カリキュラム」は、数理データサイエンスの力を基礎から身に付けることのできる教育カリキュラムです。

受講生の声を通して、数理データサイエンスを学ぶ魅力を紹介します。

データサイエンスが、
私自身の将来を切り開く。

澤紙 もも子さん

(国際地域創造学部・4年生)

データサイエンス科目を受講して、「もつと早くに触れておきたかった」と思ったのが率直な感想です。データサイエンスは、世の中のあらゆる課題を解決させてくれ、世の中をより便利な社会へと変えてくれる必要不可欠な学問だと思いました。私は、この講義をきっかけに就職活動では、幅広い業界に興味を持ち、視野を広げることができたと感じています。講義は、基礎から応用まで充実していることで、「プログラミングのことを何も知らない」という学生でも理解しやすいカリキュラムとなっています。まだ、データサイエンスを受講していない方、将来に漠然と不安を抱いている方、ぜひ一度受講してみてください。

データを正しく扱って、
価値を創造する力を養う。

上間 美優さん

(国際地域創造学部・4年生)

今や文系理系を問わず求められる、「データサイエンスの知識」を身につけるため、講義を受講しました。「データサイエンス初級」では、データの中身や背景を正しく理解し、適切な分析を行うため、「Excel」や「Python」を用いて自らの手でデータ解析を行いました。統計学の知識に加え、実際にデータを解析するための手法を学び、論理的思考力や課題発見力を身につけることができたと感じています。実際にゼミ活動やこれからの卒業研究においても、実社会の課題解明につながるデータ解析能力は役立つていくと思います。今後はさらに学びを深め、データを使いこなし、様々な価値創造につなげられるような人材になっていきたいです。

初めてのプログラミング、
コツを掴めばやみつきです。

比嘉勇満さん

(国際地域創造学部・4年生)

私はこの講義でデータサイエンスの楽しさを知ることができました。最初、私はデータサイエンスもプログラミングも難しそうに感じていましたが、先生の分かり易い授業のおかげで簡単に理解することができました。多くの情報を収集し、授業で学んだ分析を活用して、自身の仮説の答え合わせをする楽しさを知りました。プログラミングも徐々にコツを掴み、パズル感覚でコードを構築して、思い通りに動いた時の嬉しさはやみつきです。皆さんにも、データサイエンスの魅力は是非とも知ってほしいです。授業を通して学んだことは、卒業論文の作成や今後の社会人生活に必ず活きると感じます。データサイエンスを武器により充実した「大学生」になってみませんか。